

平成30年度 第2回 明和町総合教育会議 議事録

1. 日時 平成31年3月7日(木) 11:59 ~ 12:33
2. 場所 明和町中央公民館 2階 小会議室
3. 発言者 明和町長 世古口哲哉
明和町教育委員 山路克文、辻美穂、田川昌之、中村一樹
明和町教育長 下村良次
事務局
総務課 : 課長 浅尾恵次
教育総務課 : 課長 西尾仁志、係長 荒木隆伯、係 西井直貴
こども課 : 課長 西村正樹

4. 概要

議題1

明和町教育行政大綱(案)の報告について

【事務局】

第1期の教育行政大綱の実施期間が平成31年度末で終わるため、次年度から4年間を新たな実施期間として、今後の情勢等を考慮した新たな教育行政大綱を作成する。これまでの教育委員会において教育委員の皆様にご審議いただき、教育行政大綱(案)を作成した。

教育行政大綱(案)は別添資料1のとおりである。主な変更点としては、ICT教育、インクルーシブ教育や小学校区の編成、校舎等維持管理の促進、地域未来塾の充実といった文言の追加や、幼保一元化の促進や、土曜授業の実施といった実施済事項の削除、復元建物からさいくう平安の杜への文言の変更などを行った。

【教育長】

各教育委員の皆様よりご検討いただき、教育委員会としてはこの大綱(案)で決定したい。その中で、先日の議会ではあくまで(案)として提出しており、この総合教育会議において町長よりご審議いただき、良ければ(案)を削除して再度議会へ提出していくこととなる。町長、如何でしょうか。

【町長】

国民体育大会の推進とあるが、三重国体でどうか。それと、大会の推進とはどういう意味か。

【事務局】

では、推進ではなく、取り組みとさせていただきます。

【教育委員】

今年5月に改元が行われるので、平成表記をどうするか。

【事務局】

では、大綱（案）の中は全て西暦表記とさせていただきます。

【町長】

基本的なことだが、今の大綱は今年度末までで、実施期間は4年間だったか。

【事務局】

おっしゃるとおり、平成30年度末までであり、4年間である。

【町長】

町長の任期に合わせたのか。

【事務局】

今の大綱は町長の任期に合わせる形で、4年間とした。今回も同様である。

【教育長】

では町長、だいたいこのような大綱（案）の形でよろしいでしょうか。

【町長】

よろしい。

【教育長】

それでは、（案）を削除し、再び議会へ提出し、町長の方からご説明いただけるということで、よろしく願います。

議題2

明和町小学校区検討委員会答申の報告について

【教育長】

昨年2月に皇学館大学の深草特命教授を委員長として、その他同じく皇学館大学及び三重大大学の先生方に委員としてご参加いただき、1年間検討していただいた。その中で先月答申をいただいたので、先日の教育委員会の中で各教育委員の皆様には確認していただいた。ついては、この答申は教育委員会の総意として、校区編成を考えていきたい。そして、町長の意向もあるかと思うので、この総合教育会議での報告を経て方針を決定していきたい。まずは事務局より答申の概要を説明させていただく。

【事務局】

答申書は資料2である。まず、前文として明和町には津波の危険や少子化といった課題からそれらの対策をするためにハードとソフト両面から小学校区の編成を行うための検討をした旨を書かせていただいた。そして、以降のページでは、検討項目ごとに、検討してきた経緯を上部に記載し、下段部の四角内に検討した結果としての答申本文を記載してある。

項目数として全部で7項目あり、1つ目は、明和町の北部の学校について、大淀小学校の耐用年数や各種ハザードの関係から、大淀小学校及び上御糸小学校、下御糸小学校を統合して1つ新しい学校を建てること、2つ目は、明和町の南部の学校について、児童の減少問題から修正小学校を優先的に統合することに関して記載してある。3つ目も南部の学校についてであり、将来的には南部を1つの学校に統合し、町内を2校区として学級編成等含め、適正な規模とするものである。さらに4つ目は、統合が前提の中で、新しい学校を建てる際には災害を考慮した設計とすることや、魅力のある学校とすることの計画、各教育施設との連携の必要性を記載してある。5つ目は、校区再編に伴うまちづくり計画や跡地問題、地域との連携等を記載し、6つ目は、地域コミュニティの重要性及び今後の連携等の計画について記載している。最後の7つ目は、統合決定後の準備委員会の設置や新しい学校の名称に関する記載となっている。また、一番後ろにはスケジュール（案）を添付してあるが、これは答申を頂いた中での望ましい計画として示している。

明和町の様々な事情があるかと思われるが、教育委員会としてこのような答申を頂いたことを報告させていただく。

【教育長】

これまで、小学校区検討委員会の開催後に必ず定例教育委員会を開催し、教育委員の皆様と情報共有を行ってきた。あくまで教育委員会の立場から諮問を行った結果としての答申である。また、今後各地域へ説明に伺う際のアドバイスも行っていただいた。そして、今後総合教育会議の中で町長がまちづくりの中でどのような位置づけをされているか等調整が必要であるので、今回はこのような答申をいただいた、という報告であるが、町長、如何でしょうか。

【町長】

これからが一番大変である。教育委員会だけで進める状況ではなくなっているので、総合教育会議を開いた中で今後どう進めていくか協議した方が良い。答申の中で、まずは明和町を小学校3校とし、将来的に2校へ持っていくこととなっているが、学校を一度建てたら60年使用していく中で、明和町の人口は現状維持が精一杯と感じる。課題を先送りしてはいけないと思うので、個人的には3校のうち2校は厳しいと感じる。他の要素も入れて町案を検討していきたいと考えている。

【教育長】

その辺りの話は次回の総合教育会議で議論できれば。教育委員の皆様は如何でしょうか。

【教育委員】

教育委員会がまとめた形としてはこれで最終形であるので、今後どういうメンバーをどういった会議へ参集をかけて進めていくか、検討が必要である。

【町長】

教育委員会が諮問を行い、教育委員会が答申を受けた。その中で教育委員会としての答えを町へ提出する場として総合教育会議があるが、教育委員会の中だけで決めていくと遅くなっていくので、一度に進めたい。だが、どんなメンバーで進めていくか、検討していく必要がある。企画係を入れるとか、準備委員会を作るとか、その辺りを踏まえて、4月早々に総合教育会議をもう一度開き、どういった進め方で、どのようなメンバー構成とするのか練っていきたい。

【教育長】

次回の総合教育会議を4月早めに開き、今後の進め方等を決定していく。

【町長】

修正小学校も複式学級となってくるので、早く地元説明へ入っていき、方向性を出していかなければいけないと思っている。

【教育委員】

例えば、住民の方向人か出てもらうワーキングを開いて、そこへ町長も出てもらって説明した方がいいかもしれない。ワンクッション置いておかないと、いきなり地域へ向けて発信すれば、様々な議論が飛び交い、何回行っても同じことの繰り返しとなる恐れがある。

【教育長】

それも含めて4月早々の総合教育会議で方向性の決定を行いたい。

【教育委員】

かなりトップダウンで動かないと進まない。そういう事も意識して進むべき。

【町長】

案を用意してから各地域へ入っていかなければならない。もちろん、全地域へ伺うので早めに行っていきたい。例えば第1案、第2案という提案の方法も良いと思うので、できるだけ早く町案をまとめていきたい。

【教育長】

では、4月早々にそれも含めた総合教育会議を開催するというので、今回は終わりにします。お疲れ様でした。